

一、次の漢文を書き下し文に直せよ。

1 遂迷不復得路。

2 苟能充之、足以保四海。

〔保〕安らかにする。四海〔天下。〕

3 假令僕伏法受誅、若九牛亡一毛。

毛。

〔誅〕罪によつて殺す。九牛亡一毛〔多くの牛がわずか一本の毛を失う。〕

4 祇取辱耳。

5 嗟乎、惜哉。

二、次の漢文に、後の読み方を参考にして、返り点と送り仮名を付けよ。

1 此天之亡我、非戰之罪也。

〔此（これ）天（てん）の我（われ）を亡（ほろ）ぼすにして、戰（たたか）ひの罪（つみ）に非（あら）ざるなり。〕
〔これは天が私を滅ぼすのであり、戦争のしかたがまずいのではないのだ。〕

2 勇者不必有仁。

〔勇（ゆう）者（しや）は必（かなら）ずしも仁（じん）有（あ）らず。〕
〔勇敢な人は必ずしも仁徳があるとは限らない。〕

3 王嘗語莊子以好樂、有諸。

〔王（おう）嘗（かつ）て莊（さう）子（し）に語（か）たるに樂（がく）を好（この）むを以（も）つてすと、諸（これ）有（あり）や。〕
〔樂（音楽）。〕

4 君子去仁、惡乎成名。

〔君（くん）子（し）は仁（じん）を去（さ）りて、惡（いづ）くにか名（な）を成（な）さん。〕
〔仁（儒教）における最高の徳。深い人間愛。〕

5 陛下縱自輕、奈高廟太后何。

〔陛（へい）下（か）縱（たと）ひ自（みづか）ら輕（かる）んずとも、高（かう）廟（べう）太（たい）后（こう）を奈（何）い（かん）せん。〕
〔自（軽）自分（を）輕（ん）じる。ここでは、皇帝でありながら、軽率で危険な行動をすることを指す。高廟太后〔祖母と皇帝の母。〕

6 人間何獨伯夷清。

〔人（じん）間（かん）何（なん）ぞ獨（ひとり）伯（はく）夷（い）のみ清（きよ）からん。〕

〈人間〓人の世。世間。伯夷〓殷末の人。周の武王の武力革命に反対して、義を守り餓死した。〉

三、次の漢文中の空欄に、口語訳を参考にして、「不」「非」「無」のいずれかを選んで入れて完成し、また、必要な場合は送り仮名を付けよ。

1 攻^メ其^コ 惡^ク、□^レ攻^ム 人^ノ 之^ヲ 惡^ム。

(自分の悪いところを責めよ、他人の悪いところは責めてはいけない。)

2 覆^ス 水 □^レ 返^ラ 盆^ニ。

(一度こぼれた水は盆には返らない。)

四、次の漢文を①・②の違いがわかるように傍線部を口語訳せよ。

① 伯^{ハク} 樂^{ラク} 不^ニ 常^{ニハ} 有^ラ。

② 伯^{ハク} 樂^{ラク} 常^ニ 不^レ 有^ラ。

〈伯樂〓名馬を見抜く名人。〉

① ー

ー ② ー

ー

① 勇^ハ 者^ハ 不^ニ 必^{ズシ} 有^ラ 仁^ニ。

② 勇^ハ 者^ハ 必^ズ 不^レ 有^ラ 仁^ニ。

① ー

ー ② ー

ー

五、次の漢文に、口語訳を参考にして、返り点と送り仮名を付けよ。

1 漢 王 安 在 。

(漢王はどこにいるのか。)

2 趙^{テウ} 衰^シ 趙^{テウ} 盾^{トン}、孰^{トク} 賢^{ケン}。

(趙衰と趙盾とは、どちらが賢いか。)

3 其^イ 賢^{ケン}、何^ニ 若^カ。

(その賢さは、どのようであるか。)

4 孰^{トク} 与^ニ 之^ヲ。

(だれがこれを与えたのか。)

5 豈^{ナンチ} 不^レ 爾^ニ 思^フ。

(どうしておまえを思わないだろうか(いや、思う)。)



一 遂に迷ひて復た路を得ず。
二 苟くも能く之を充たさば、以て四海を保んずるに足る。
三 仮令ひ僕法に伏し誅を受くとも、九牛の一毛を亡へるがごとし。
四 祇だ辱を取るのみ。
五 ああ、惜しいかな。

一 此^レ天^ノ之^レ亡^レ我[、]非^ニ戰^ヒ之^レ罪^ニ也[。]

二 勇^者不^ニ必^ズ有^ラ仁[。]

三 王^嘗語^ニ莊^子以^レ好^ム樂^ヲ有^レ諸[。]

四 君^子去^レ仁[、]惡^ク乎^成名^ヲ。

五 陛^下縱^ヒ自^ラ輕^ン奈^ニ高^廟太^后何^セん。

六 人^間何^ソ獨^リ伯^夷清[。]

三 無^カレ

二 不[。]

四 ① ① いつもいるわけではない。 ② いつもいない。
五 ① 必ずしも仁の心があるとは限らない。 ② 必ず仁の心がない。

一 漢^王安^在。

二 趙^衰趙^盾孰^レ賢^{ナル}。

三 其^ノ賢^{ナル}何^カ若[。]

四 孰^カ与^レ之^ヲ。

五 豈^ニ不^ニ爾^ハ思^ハ。